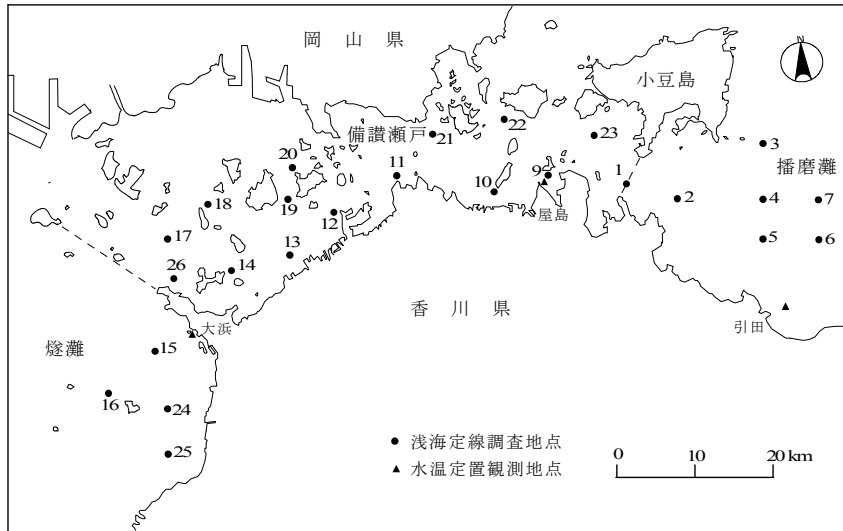


# 香川県漁海況情報 平成 23 年 7 月 (H23-4 号)

香川県水産試験場

## 1. 海況

### 1) 観測地点



### 2) 浅海定線調査

#### (1) 調査日

平成 23 年 7 月 5 日 (播磨灘), 6 日 (備讃瀬戸, 燧灘)

#### (2) 水質概況

平年と比較すると、水温および塩分は「やや低めから平年並み」、透明度は「やや低めからやや高め」、溶存酸素は「やや低めから著しく高め」であった。

7 月

		水 温 (°C)			塩 分 (PSU)			透明度 (m)	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播 磨 灘	7地点平均値	21.8	20.1	18.2	31.2	31.5	31.8	6.8	5.09	4.66
	平年値	22.1	20.6	18.8	31.6	31.8	32.1	7.7	5.26	3.73
	平年偏差	-0.4	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.58	0.58
	標準偏差(σ)	1.1	0.7	0.6	0.5	0.4	0.4	2.0	0.40	0.40
	状 況	平年並み	やや低め	やや低め	やや低め	やや低め	やや低め	やや低め	平年並み	平年並み
備 讃 瀬 戸	14地点平均値	21.7	20.9	20.8	31.5	31.7	31.7	5.1	4.55	4.33
	平年値	21.3	20.8	20.6	31.5	31.8	31.9	4.2	4.71	4.46
	平年偏差	0.4	0.1	0.3	-0.1	-0.2	-0.2	0.9	-0.16	-0.13
	標準偏差(σ)	0.8	0.7	0.7	0.9	0.6	0.6	0.8	0.25	0.26
	状 況	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	やや高め	やや低め	平年並み
燧 灘	4地点平均値	24.4	18.8	17.4	31.0	32.4	32.9	5.2	6.10	3.53
	平年値	23.9	20.2	18.2	31.4	32.4	32.7	9.1	5.28	3.73
	平年偏差	0.6	-1.4	-0.8	-0.4	0.0	0.2	-3.9	0.83	-0.19
	標準偏差(σ)	1.4	0.7	0.7	1.0	0.5	0.6	3.3	0.42	0.47
	状 況	平年並み	かなり低め	やや低め	平年並み	平年並み	平年並み	やや低め	かなり高め	平年並み

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間

水温、塩分及び透明度：昭和 48 年 (1973) 1 月～平成 13 年 (2002) 12 月

溶 存 酸 素：昭和 48 年 (1973) 2 月～平成 13 年 (2002) 12 月

水温は、毎月 1 日の値に補正。

平年並み  $0\sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6\sigma$  ( $\sigma$  : 標準偏差)

やや高め (やや低め)  $0.6\sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3\sigma$

かなり高め (かなり低め)  $1.3\sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0\sigma$

著しく高め (著しく低め)  $2.0\sigma \leq \text{平年偏差}$

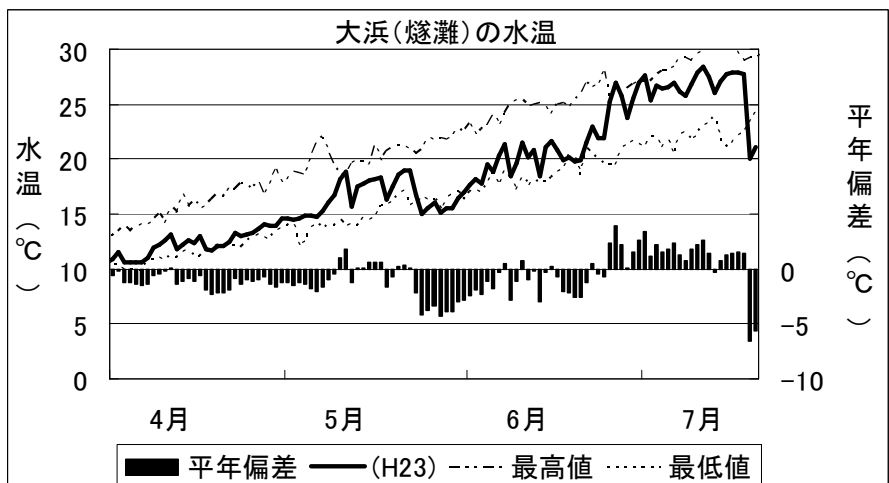
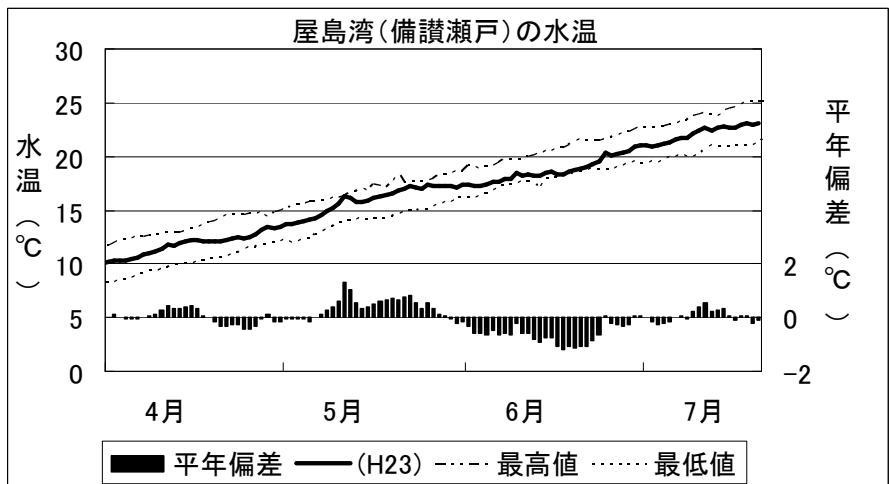
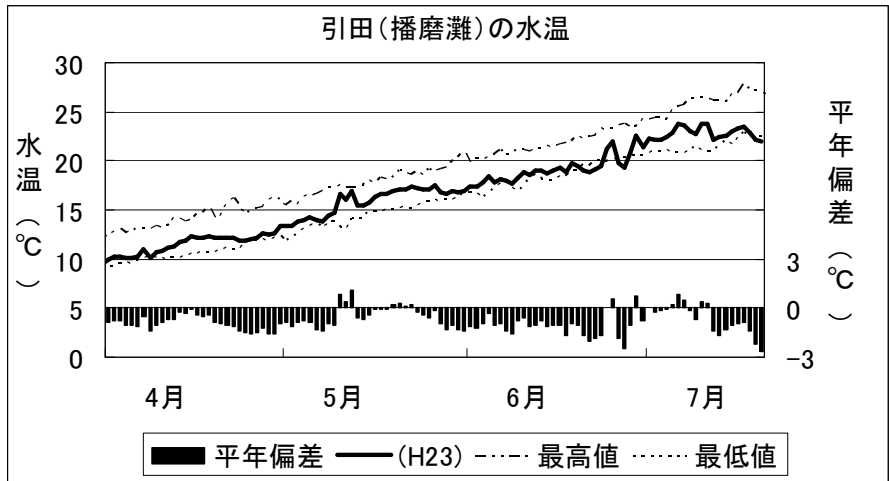
### 3) 定置観測 (水温)

播磨灘 (引田) : 4月以降, やや低めから平年並み, 6月はかなり低め, 7月は平年並みから低めに推移している。(4月上旬に1回, 6月下旬に6回, 7月に2回, 過去最低値を更新。)

備讃瀬戸 (屋島) : 4月以降, 平年並みで推移していたが, 6月はやや低めに, 7月は平年並みで推移している。

燧灘 (大浜) : 4月以降, 平年並みからかなり低めで推移していたが, 5月下旬からかなり低めからかなり高めまで大きく変動を繰り返しながら推移している。(4月中旬に2回, 5月下旬に7回, 6月中旬に2回, 7月下旬に2回, 過去最低値を, 5月中旬に1回, 6月下旬に2回, 7月上旬に1回, 過去最高値を更新。)

平年値の算出期間 引田及び大浜 : 平成元 (1989) ~平成 22 (2010) 年  
屋島 : 昭和 50 (1975) ~平成 22 (2010) 年



#### 4) 赤潮 (6月18日～7月22日)

播磨灘：6月2日に播磨灘南西部において確認された *Noctiluca scintillans* による赤潮は現在も継続中である。

播磨灘南部～南西部において7月1日から4日に *Chattonella marina* による赤潮が確認された。

播磨灘南西部(屋島湾)において7月14日から16日に *Heterosigma akashiwo* による赤潮が確認された。

備讃瀬戸：備讃瀬戸東部(直島～小豆島)において6月30日から7月3日に *Chattonella marina*, *Chattonella antiqua*, *Chattonella* 区分不能による赤潮が確認された。

7月11日に備讃瀬戸東部(豊島～小豆島北部)において *Skeletonema spp.* による赤潮が、7月13日に備讃瀬戸東部(豊島南部, 鷹島東)において *Mesodinium rubrum*, *Skeletonema spp.* による赤潮が確認された。

備讃瀬戸西部において7月21日に *Mesodinium rubrum* による赤潮が確認された。

燧灘：7月8日に燧灘東部において確認された *Chattonella marina*, *Chattonella* 区分不能, *Noctiluca scintillans* による赤潮は現在も継続中である。

#### 5) 卵稚仔

調査日：平成23年7月5日(播磨灘), 6日(備讃瀬戸, 燧灘)

出現量

－：平年値が0の場合を示す。(その他の魚類については平年値がない。)

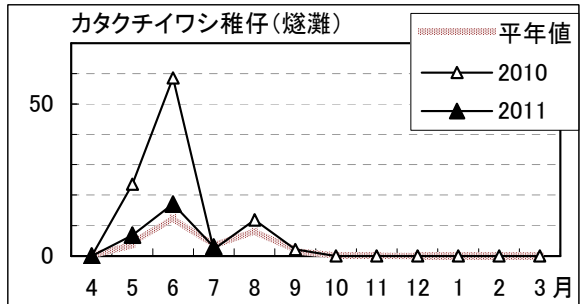
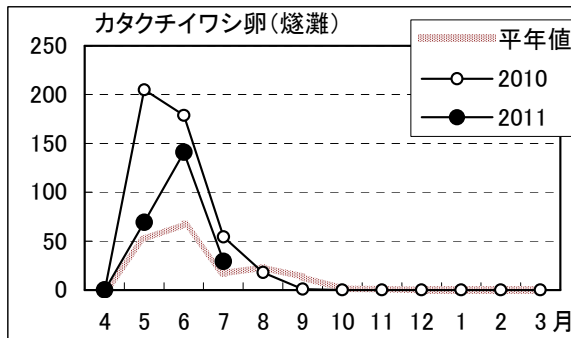
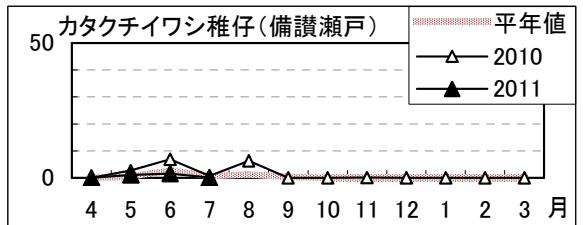
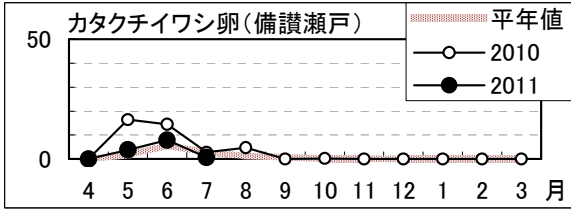
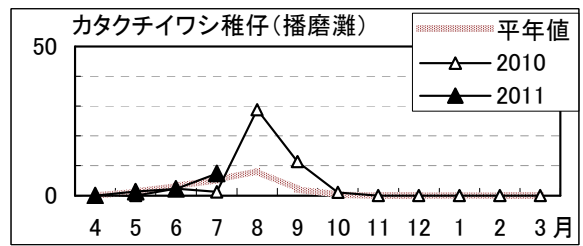
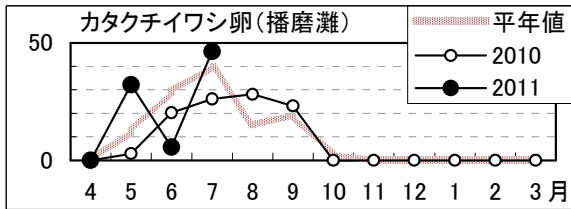
平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55(1980)年度～平成22(2010)年度

マイワシ：平成6(1994)年度～平成22(2010)年度

		カタクチイワシ		マイワシ		サワラ		その他の魚類	
		卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘	平均値	46.4	7.4	0.0	0.0	0.0	0.0	13.9	6.5
	平年値	39.9	5.3	0.0	0.0				
	対平年(%)	116	140	－	－				
備讃瀬戸	平均値	0.7	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	8.8	0.9
	平年値	2.7	0.6	0.0	0.0				
	対平年(%)	27	24	－	－				
燧灘	平均値	29.1	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	1.0
	平年値	16.8	3.1	0.0	0.0				
	対平年(%)	174	96	－	－				
総平均	平均値	19.5	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	2.4
	平年値	22.8	4.6	0.0	0.0				
	対平年(%)	86	60	－	－				

マイワシの卵・稚仔は、平成14年度以降、確認されておられません。



## 2. 漁況

1) 6月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底びき網ではマダイ、シロギス、セトダイ、メイタガレイ、ウシノシタ類、ネズッポ類、コウイカ、ベイカ、マダコ、小エビ類、ガザミ、アカニシなどが漁獲されている。</p> <p>建網ではメバル、キジハタなどが漁獲されている。</p> <p>柵網ではマアジ、マルアジ、マサバ、コノシロ、ツバス、メジナ、イシモチ、タチウオ、コウイカ、シリヤケイカなどが漁獲されている。</p> <p>あじ落網ではマルアジ、マサバ、サゴシ、イシモチなどが漁獲されている。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網ではマダイ、メイタガレイ、ウシノシタ類、マアナゴ、ベイカ、マダコ、アカニシ、小エビ類などが漁獲されている。</p> <p>建網ではマダイ、クロダイ、キュウセン、セトダイ、コウイカ類などが漁獲されている。</p> <p>延縄ではシロギス、キュウセンが漁獲されている。</p>
隧 灘	<p>底びき網ではシログチ、アカカマス、マゴチ、ネズッポ類、メイタガレイ、オニオコゼ、小エビ類などが漁獲されている。</p> <p>柵網ではスズキ、マルアジ、アカカマス、ボラ、コウイカなどが漁獲されている。例年多いマツイカ、アカカマス、マサバが少ない。</p>

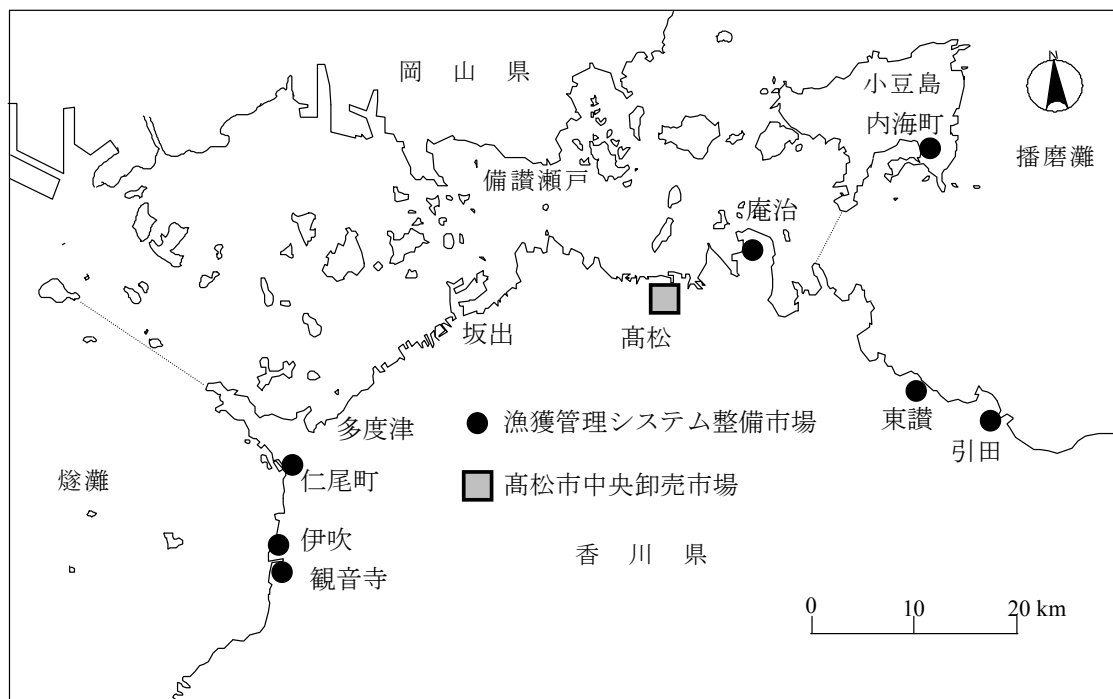
## 2) 香川県の漁獲情報

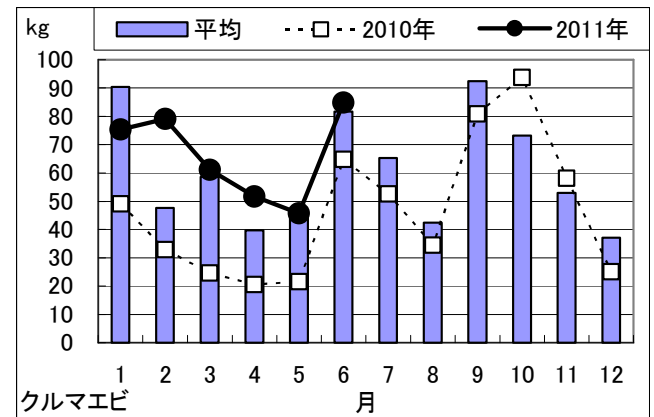
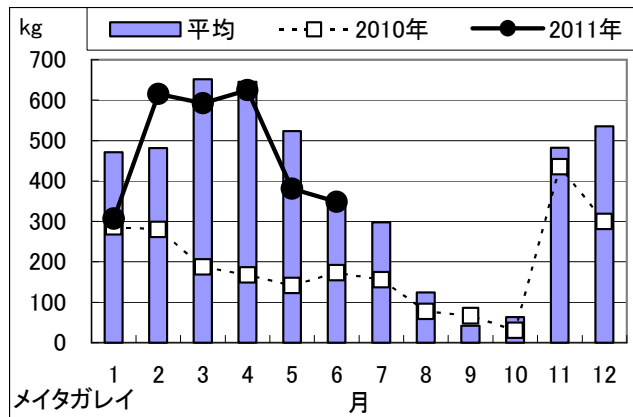
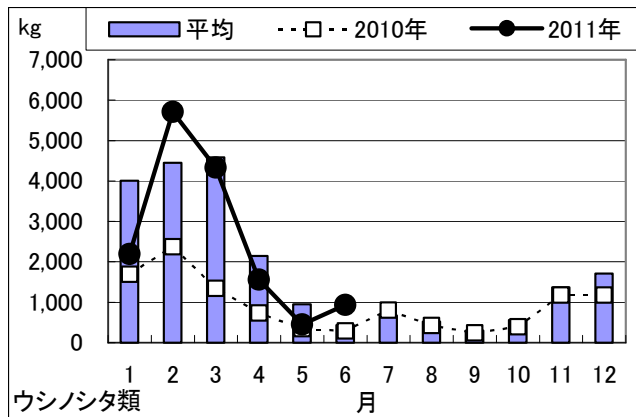
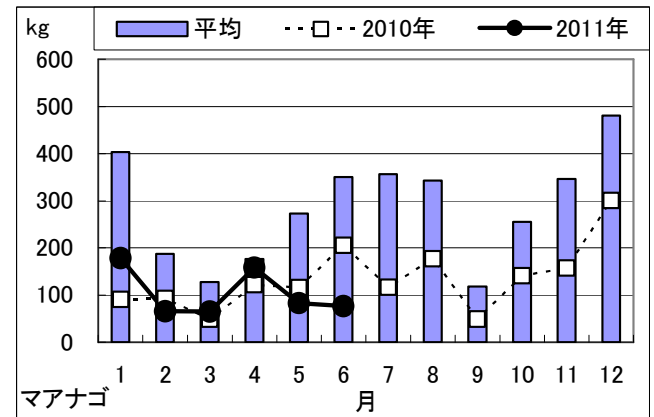
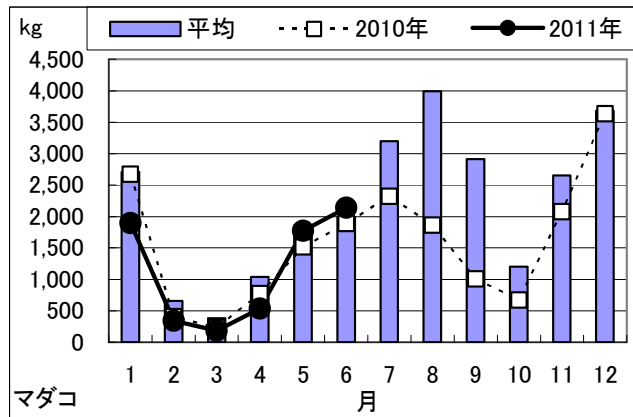
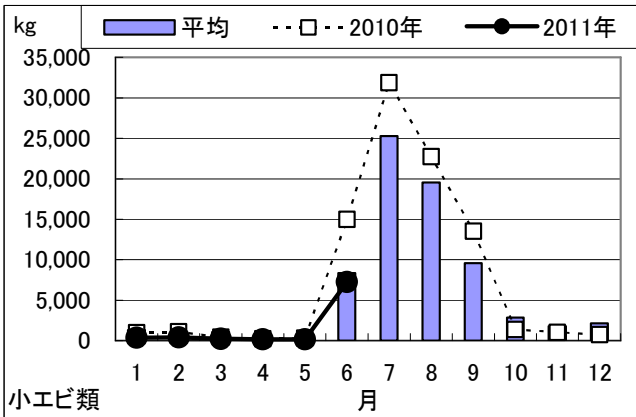
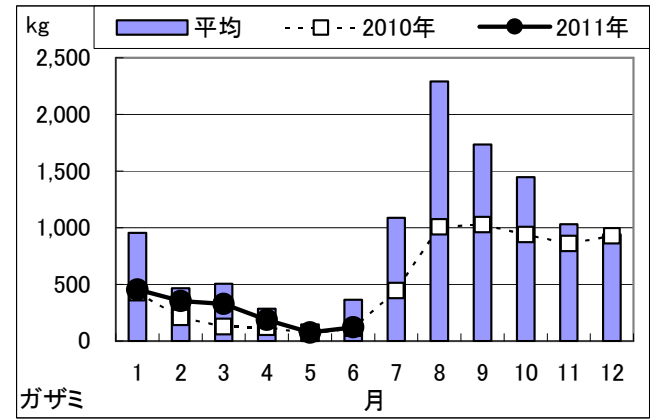
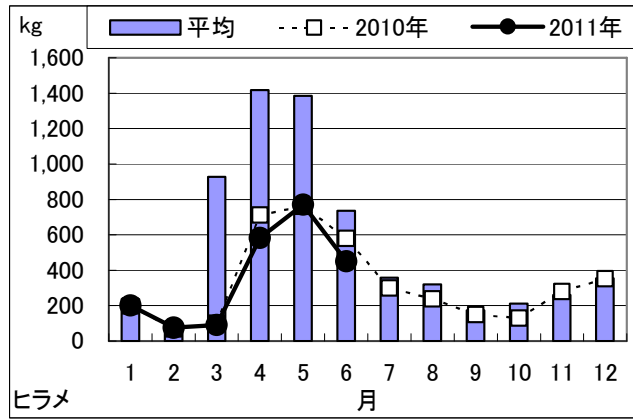
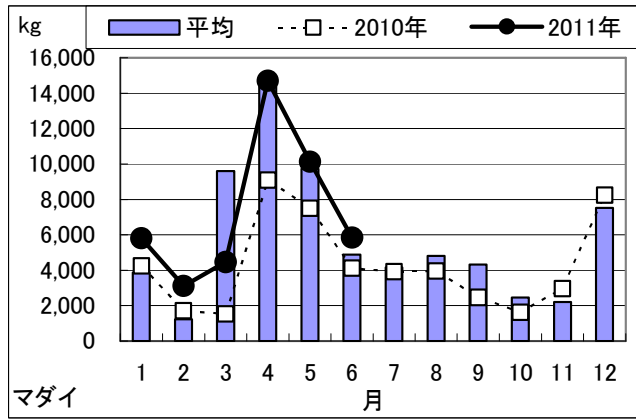
### (1) 漁獲管理（TAC）システムデータ

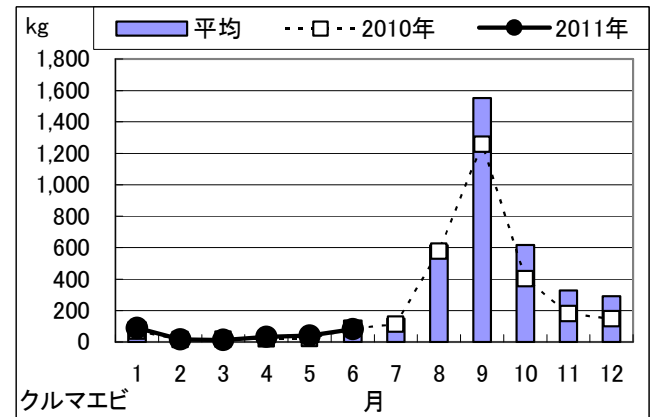
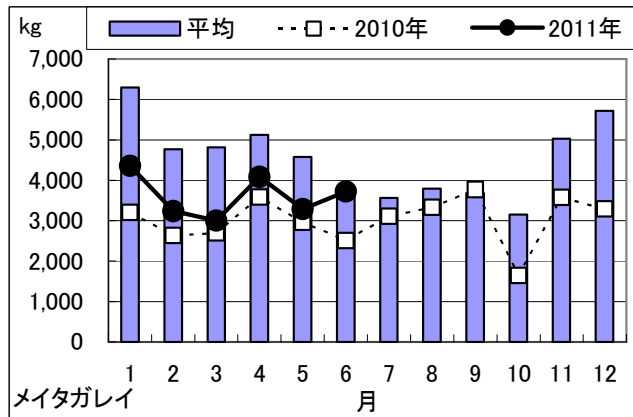
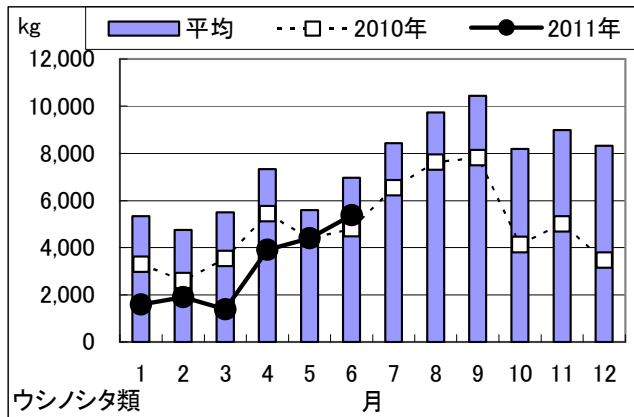
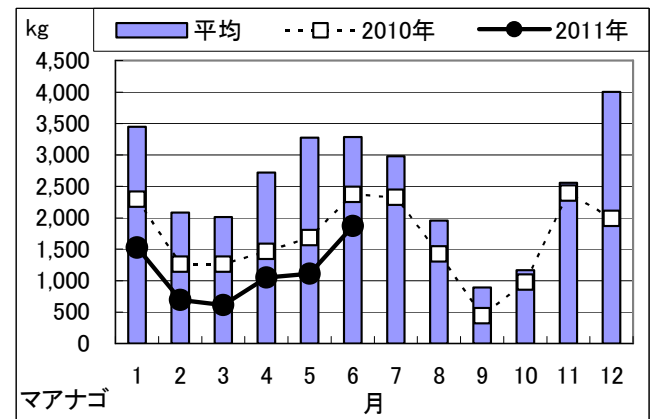
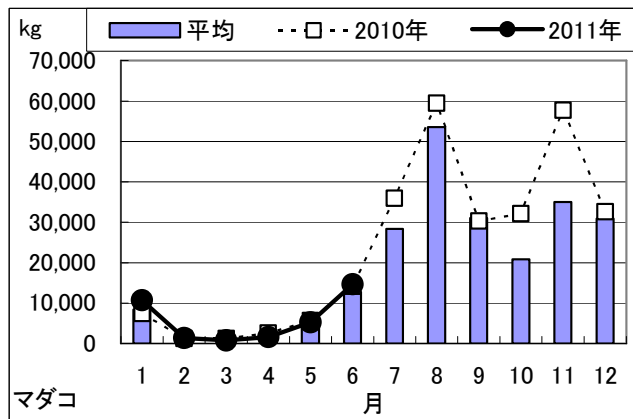
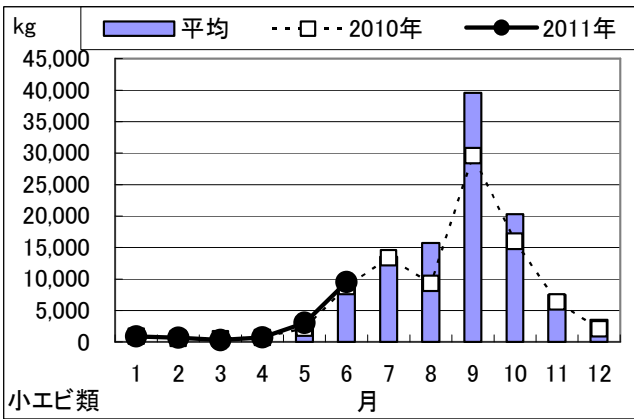
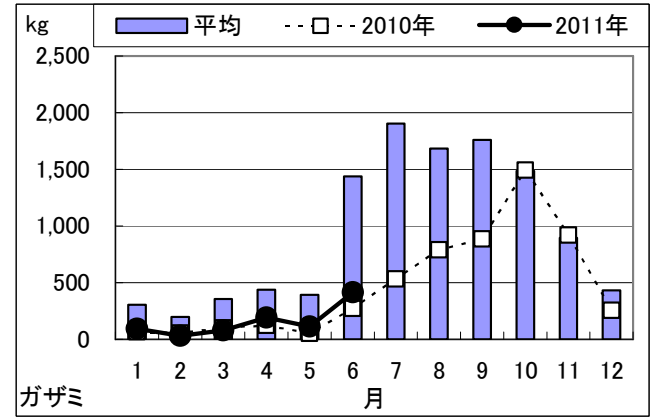
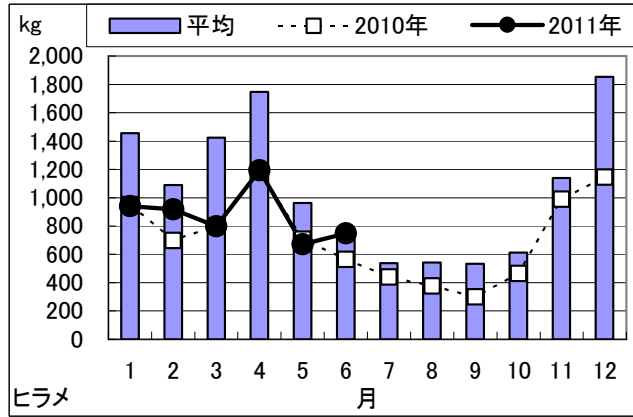
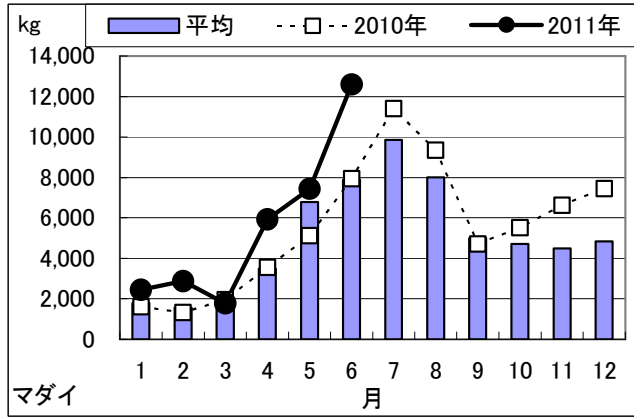
日本周辺の生物資源を適切に管理保存するためのTAC(漁獲可能量)を迅速に把握することを目的とした全国システムで、本県では以下の産地市場に整備されています。

### (2) 高松市中央卸売市場データ

水産物のうち生鮮水産物（香川県全体から集荷されている）について、高松市中央卸売市場のホームページで公開されている情報を水産試験場で集計したものです。

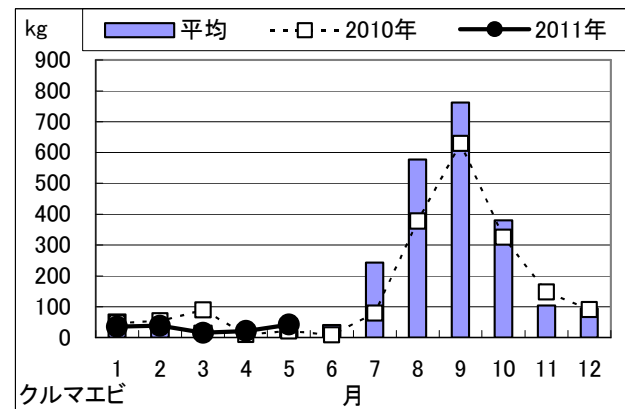
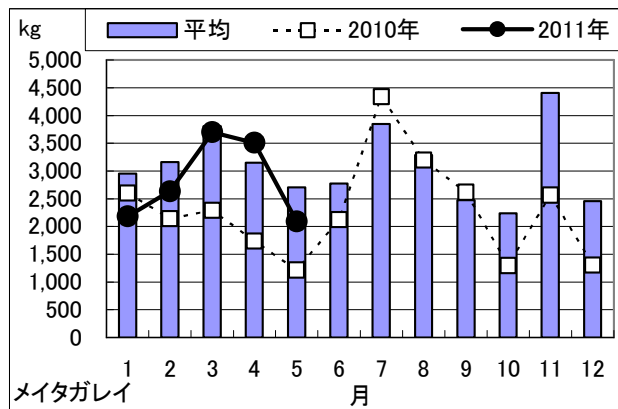
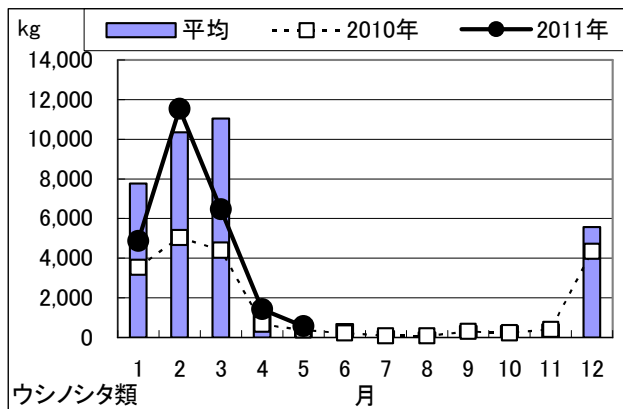
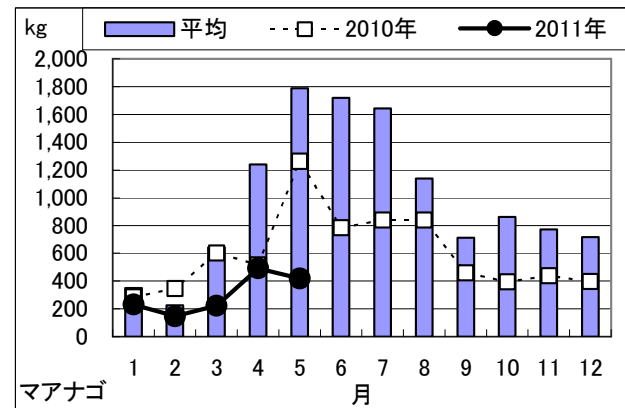
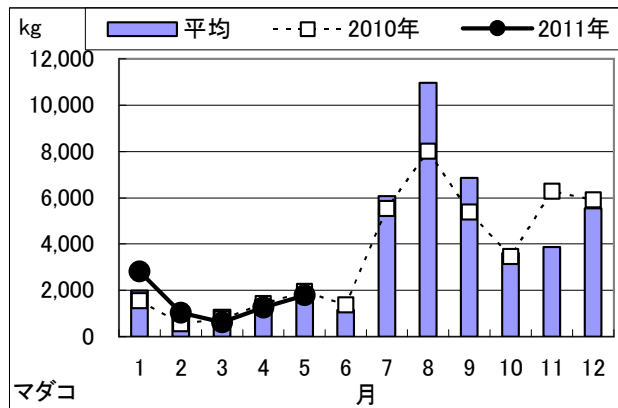
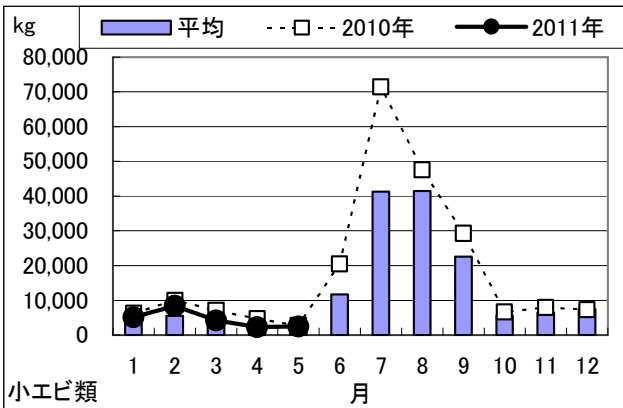
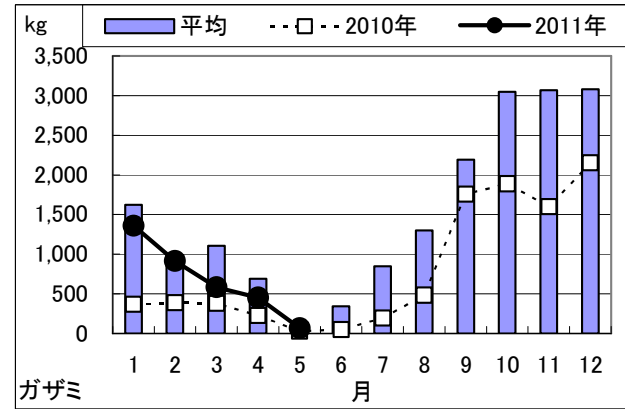
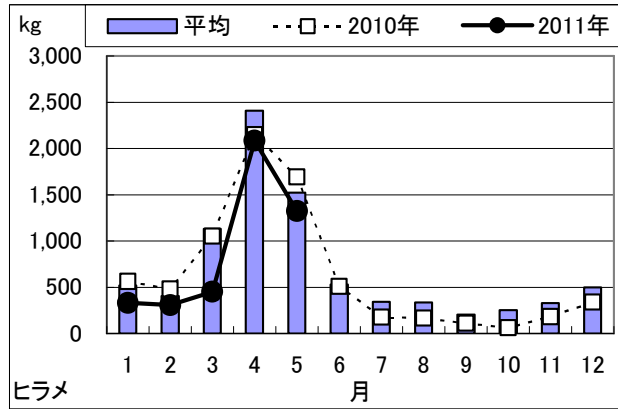
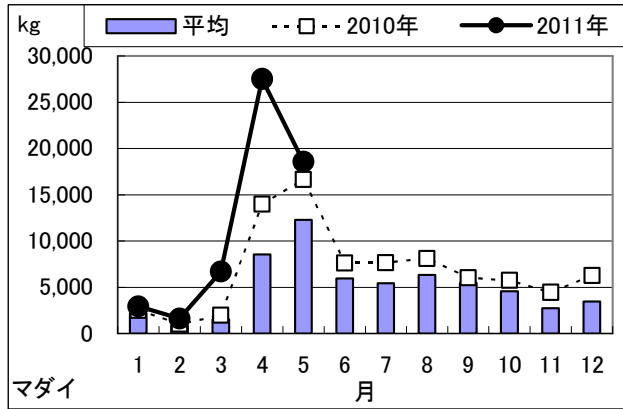






燧灘（仁尾町、観音寺、伊吹）のTACデータより（6月分はデータが揃っていません。）

平均値は、2006年から2010年の5年間の平均。





高松市中央卸売市場データ（県内ものの鮮魚：東讃・小豆・三豊地区も含む）より

（6月分は速報が出ていません。）

平均値は、2006年から2010年の5年間の平均。

